

宗内寺院紹介 53

岡山教区第四部

玉嶋山安福寺 圓乘院



①山門 ②観音堂・六角堂・鐘楼堂 ③殺生禁断の木札 ④本尊「阿弥陀如来」
⑤大仙院毘沙門堂 ⑥本堂

岡山教区第四部
玉嶋山安福寺 圓乘院

住 所 / 〒713-8102 岡山県倉敷市玉島3-5-16
電話番号 / 086-522-3263

玉嶋山安福寺圓乘院は、倉敷市玉島三二五―一六に存し、寺伝によりますと、貞観四年（西暦八六二）慈覚大師開創。文保二年（西暦一三一八）に火災にかり貞治三年（西暦一三六四）乙島小幡家の先祖、小幡人道祐本が本堂を再建。又、現在の本堂は、昭和五十七年十一月（昭和六十二年十一月迄）（但し本堂竣工昭和六十年十一月末落慶法要は昭和六十一年十一月三日）、満五ヶ年、檀信徒同信同行で再々建（旧本堂は観音堂位牌堂に）。寛文五年（西暦一六六五）松山城主水谷左京亮勝宗が朱塗門一字寄進せられました（この山門は大風にて倒壊、現在の山門は玉島通町（現玉島二丁目）佐藤家が、大正九年六月に寄進せられたものです）。棟梁山崎吉平善蔵父子の力作です。「御本尊は、鎌倉時代の作と伝えられる阿弥陀如来立像で、脇侍には観世音菩薩と大勢至菩薩が祀られています。」当時の宝物としましては、弘安十年（西暦一七八七）三月六日玉の浦に建てた「殺生禁断の木札」宝暦六年（西暦一七五六）四月開闢大導師澄月花押の「常念仏条制」（澄月は幼時当寺で修行す）。